

教科名 (科目名)	芸術 音楽Ⅱ	履修学年	2 年	学科	普通 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて深く考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実技テスト</li> <li>○授業プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実技テスト</li> <li>○授業プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実技テスト</li> <li>○授業プリント</li> </ul>

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】  
MOUSA2  
【副教材】  
Music Note

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書とワークシートを使って学習を進めます。  
○各単元の終わりにはまとめとして、実技テストや発表等を行います。  
○表現領域では、技術習得と表現の工夫とのバランスを図りながら学習します。  
○鑑賞領域については表現領域とのバランスを図りながら随時学習します。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	○歌唱①	○実技テスト ※随時 ○授業プリント	○実技テスト ○授業プリント	○授業プリントの記述 ○自己評価や相互評価 ○授業中の発言や行動の観察
	5月	○世界の諸民族の音楽 ○日本の伝統音楽			
	6月	○クラシックギター ○西洋音楽の歴史			
	7月	○ギターアンサンブル① ※鑑賞領域は随時実施します			
2 学 期	8月	○ギターアンサンブル②	○実技テスト ※随時 ○授業プリント	○実技テスト ○授業プリント	○授業プリントの記述 ○自己評価や相互評価 ○授業中の発言や行動の観察
	9月	○創作①			
	10月	○創作②			
	11月	○アンサンブル①			
	12月	○アンサンブル② ※鑑賞領域は随時実施します			
3 学 期	1月	○プレゼンテーション 「昭和ポップス研究」	○実技テスト ※随時 ○授業プリント	○実技テスト ○授業プリント	○授業プリントの記述 ○自己評価や相互評価 ○授業中の発言や行動の観察
	2月	○卒業式の歌			
	3月	○器楽アンサンブル ※鑑賞領域は随時実施します			